

学長の業績評価書

令和元年10月31日

奈良県立医科大学学長選考会議

奈良県立医科大学学長の業績評価に関する規程(以下「業績評価規程」という。)に基づき、細井学長の業績評価を行いましたので、その結果を公表します。

1:【評価方法】

業績評価規程及び奈良県立医科大学学長の業績評価に関する手順書に基づき、(1)選考基準の各項目、(2)学長候補者の時点で選考会議に提出した所信表明等に記載されている各項目、(3)年度計画に係る奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会による評価結果を踏まえた業績、(4)本学監事による監査結果を踏まえた業績、(5)その他学長選考会議が必要と認める項目として学長に自己評価書の提出を求め、自己評価書に対する学内意見を聴取するとともに、学長選考会議が学長に対し、自己評価書の内容等を聴取・確認した。

2:【評価結果】

上記(1)～(5)の資料等を参考に所信表明の達成状況、年度計画及び中期計画の実施状況を確認したところ、奈良県立医科大学の学長として、その職責を十分に果たし、大学運営・改革に努力し着実に成果を挙げているものと評価できる。

一方、選考会議による学長面談及び学内意見聴取において、以下の2項目に関しては特に要望があったところであり、今後の発展的取り組みに期待するものである。

- ・教育「優秀な学生の確保」の項目について、偏差値の高い受験生を増やす現行入試制度は一定の効果を出しつつある。

学長には更に、将来の医学を担う本学のステータスシンボルとしての人物像を示し、奈良県の地域医療に貢献できる「良き医療人」を輩出する環境作りを一層具体的に推進していくことを期待する。

- ・総合「新キャンパスと県との意思疎通」の項目について、新キャンパスの整備と共に、老朽化している大学内施設、附属病院等の新しい研究、診療施設の整備等の課題が多く、学長にはリーダーシップを発揮し、設置者と連携して施設の整備計画を着実に推進していくことを期待する。

【参考】

評価経緯

- 3月26日(火) 評価手順の確認等
- 5月中旬 評価様式等確定
- 10月15日(火) 学長面談の実施、評価の審議
- 10月下旬 評価結果の内容調整
- 10月31日(木) 評価結果の公表

【学長選考会議委員】(50音順)※:◎は、学長選考会議議長

- 池田 康夫 根津育英会武蔵学園 副理事長
- 大畑 建治 大阪市立大学 医学研究科長、医学部長
- ◎川副 浩平 関西医科大学 特命教授
- 車谷 典男 本学 副学長
- 西浦 嘉彦 本学 事務局長
- 林 洋 本学 副理事長
- 古家 仁 本学 副学長
- 松村 理司 洛和会ヘルスケアシステム 医療法人社団洛和会 総長